

令和2年度 第1回 野々市市子ども・子育て会議
会議録（要旨）

日 時：令和2年8月19日（水）
（保育部会）
午後6時～
場 所：市役所2階201会議室
（全体会議）
午後7時～
場 所：野々市市情報交流館
カメラア ホール椿

- 1 出席委員 保育部会 10人（欠席0人）
全体会議 18人（欠席2人）

2 配布資料

- 資料1 野々市市子ども・子育て支援事業計画の実績について
資料2 （仮称）押野ほのみこども園の提供体制の確保計画
資料3 市立保育園の園舎設置年と存続方針案
資料4 （仮称）押野ほのみこども園平面図

3 会議録

◎ 保育部会

1 開会

2 部長挨拶

健康福祉部長挨拶

3 保育部会長挨拶

和泉部会長挨拶

4 議事

（1）市内保育園の整備方針と公立保育園の今後のあり方（案）について
説明【事務局】 資料2、3、4に基づき説明

【委員】

あすなろ保育園の閉園に向けて、募集の年齢を段階的に絞ることを検討するということができたが、0歳児さんと上の兄弟の方がいた場合、2ヶ所に分かれてしまうことになるのか。

説明【事務局】

野々市市として兄弟児は一つの同じ園に通うように調整しておりますので、下の0歳児さんは受け入れざるを得ないと考えていますが、令和5年度末には閉園の予定ということをご理解いただき、転園も含めて考えていただくことをについてご案内したいと思っております。

【委員】

あすなろ保育園を希望する方は少ないと言いつつもやっぱりそこがいいって思っている方もいるし、通勤経路などにより希望する方もいらっしゃるのでは、あすなろ保育園の閉園に向け、募集年齢をどんどん減らしていくという状況を保護者の方、一人一人にご理解いただけるよう、市役所から保護者の方へ説明をお願いしたい。

説明【事務局】

あすなろ保育園は、新規の募集を絞るという手法で、閉園に向けて徐々に減らしていくような計画を立てていますので、いきなり民営化ということで、公立園から在園児全部が違う保育園に行かないといけないという状況にはならないと思っております。

ただ先ほどの兄弟児の場合などは受け入れたいと思っておりますので、そういった保護者の方については、あらかじめ丁寧に説明し、納得していただいた上で、受け入れします。

【委員】

もし自分の子が、あすなろ保育園さんに通っていて、園児がどんどん減っていき、最後の学年になったときに、行事ごとがとてもしみしくなるから、ほのみこども園さんとの交流があるのかなあとか、そういった見通しなどを、最初から保護者の方へ少し説明されておいた方がいいのかなと思いました。

【委員】

あすなろ保育園に今在園しているお子さんがすべて押野ほのみ園に行くというような計画にはなっておらず、野々市市1区画として調整されますので、もしかしたら、アリスさんとか美郷さんなどを、ご希望される保護者さんがいらっしゃるのかなと思っております。

説明【事務局】

資料には書いてございませんが、市全体の、保育施設のあり方といたしまして、法人運営の園が現在、11園あり、そのうち10園が、幼保連携型の認定こども園で、残りの1園が、敷地の問題もあり、保育園のままとして、公立保育園が5園、全部で16園となっています。来年度には、幼保連携型認定こども園が1園プラスされて、全部で17園体制になります。今後の公立保育園のあり方といたしましては、少なくとも第2期の計画におきましては、子どもの数は多いまま推移する見通しが出ていますので、共働きなどの保育要件のある方の受け皿を第1に確保する必要があるというふうに考えておきまして、公立の園に関しま

しては、第2期期間中におきましては、引き続き、保育園のままとさせていただければと思っております。

ただ、いずれは、認定こども園への移行ということは、議論しなければいけないというふうに思っていますので、計画期間中に少しずつお話させていただければなというふうに思っております。

5 閉会

◎ 全体会議

1 開会

会議の成立を報告と新任委員の紹介

2 部長挨拶

健康福祉部長挨拶

3 会長、児童部会長の選任

徳野委員が会長に、滝口委員が児童部会長に選任

4 議事

(1) 野々市市の子育て施策の現状

説明【事務局】 資料1に基づき説明

《質疑なし》

(2) 第2期野々市市子ども・子育て支援事業計画について

説明【事務局】 第2期野々市市子ども・子育て支援事業計画について説明

《質疑なし》

(3) 市内保育園等の整備方針と公立保育園の今後のあり方について

説明【事務局】 資料2, 3, 4に基づき説明

《質疑なし》

4 その他

報告【和泉部会長】 保育部会での意見について和泉部会長より説明

・各施設においての新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に関する対策について
報告【事務局】

各施設において、施設内に入る前には、検温を行い、対応が37.5度以上ある方につきましては、当園や、入館をお断りしております。

また、各種行事等につきましても、中止や規模の縮小、または、実施方法の検討を行うなど、密になることを避けるよう対策を講じております。

保育園、放課後児童クラブは、学校の休業中も閉園・閉所せず、園児、児童の受け入れを行っていましたが、園児・児童の手洗いを徹底するほか、マスクや消毒液が不足している施設に対しては、市の備蓄品を支給するなど、現場に従事する職員の感染予防にも努めて参りました。

市内児童館につきましては、4月14日から5月24日までの期間、閉館しておりましたが、利用者にマスクを着用していただいた上で、年齢により、利用時間を区切るなどの対策を講じ、5月25日より再開館しております。

子育て支援センターにつきましても、利用時間を区切り、1度に利用できる人数を制限するなど、対策を講じた上で利用いただいております。

いずれの施設におきましても、利用者の体調確認、施設の消毒を徹底し、運営を実施しているところでございます。

5 閉会